

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成29年3月9日(2017.3.9)

【公開番号】特開2017-12327(P2017-12327A)

【公開日】平成29年1月19日(2017.1.19)

【年通号数】公開・登録公報2017-003

【出願番号】特願2015-130542(P2015-130542)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成29年2月6日(2017.2.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

変動表示を行ない、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、
変動表示の実行中に、当該変動表示に対応する特定表示を表示可能な特定表示手段と、
変動表示の実行中に、共通演出を実行し、当該共通演出を実行した後に前記特定表示の
表示態様を変化させる変化演出及び前記特定表示の表示態様を変化させない示唆演出のい
ずれか一方を実行可能な演出実行手段とを備え、

前記演出実行手段は、前記共通演出として所定の効果音を出力するとともに、前記特定
表示の表示態様を変化させるときと前記特定表示の表示態様を変化させないときとで少な
くとも一部が同一または類似の態様の特定画像を表示し、

変動表示の実行中における複数タイミングのうち、いずれのタイミングで前記共通演出
を実行するかに応じて、前記変化演出を実行する割合が異なる、遊技機。

【請求項 2】

変動表示を行ない、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、
変動表示に関する情報について保留情報として記憶する保留記憶手段と、
前記保留記憶手段に記憶された保留情報に対応する保留表示を表示可能な保留表示手段
と、

変動表示の実行中に、共通演出を実行し、当該共通演出を実行した後に前記保留表示の
表示態様を変化させる変化演出及び前記保留表示の表示態様を変化させない示唆演出のい
ずれか一方を実行可能な演出実行手段とを備え、

前記演出実行手段は、前記共通演出として所定の効果音を出力するとともに、前記保留
表示の表示態様を変化させるときと前記保留表示の表示態様を変化させないときとで少な
くとも一部が同一または類似の態様の特定画像を表示し、

変動表示の実行中における複数タイミングのうち、いずれのタイミングで前記共通演出
を実行するかに応じて、前記変化演出を実行する割合が異なる、遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

(1) 変動表示（特図の可変表示、飾り図柄の可変表示、特図及び飾り図柄の可変表示等）を行ない、遊技者にとって有利な有利状態（大当り遊技状態等）に制御可能な遊技機であって、

変動表示の実行中に、当該変動表示に対応する特定表示（アクティブ表示等）を表示可能な特定表示手段（演出制御用CPU120等）と、

変動表示の実行中に、共通演出（図40の共通態様部分）を実行し、当該共通演出を実行した後に前記特定表示の表示態様を変化させる変化演出（図40（A）の変化演出、アクティブ表示の色を変化させる演出等）及び前記特定表示の表示態様を変化させない示唆演出（特定示唆演出等）のいずれか一方を実行可能な演出実行手段（演出制御用CPU120等）とを備え、

前記演出実行手段は、前記共通演出として所定の効果音を出力するとともに（図40に示すように、変化演出および特定示唆演出では、共通態様部分においてスピーカ8から効果音が出力される）、前記特定表示の表示態様を変化させるときと前記特定表示の表示態様を変化させないときとで少なくとも一部が同一または類似の態様の特定画像を表示し（図40に示すように、変化演出および付加演出では、演出開始から煙画像（スモーク画像）で表示される特定画像が表示される等）、

変動表示の実行中における複数タイミングのうち、いずれのタイミングで前記共通演出を実行するかに応じて、前記変化演出を実行する割合が異なる（図28に示すように実行タイミングにより成功期待度が異なる等）。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

(2) 変動表示（特図の可変表示、飾り図柄の可変表示、特図及び飾り図柄の可変表示等）を行ない、遊技者にとって有利な有利状態（大当り遊技状態等）に制御可能な遊技機であって、

変動表示に関する情報について保留情報として記憶する保留記憶手段（第1特図保留記憶部151A、第2特図保留記憶部151B、第1始動入賞時受信コマンドバッファ194A、第2始動入賞時受信コマンドバッファ194B等）と、

前記保留記憶手段に記憶された保留情報に対応する保留表示を表示可能な保留表示手段（ステップS162の第1保留追加処理において第1始動入賞記憶表示エリア5HLに保留表示を追加する処理や、ステップS165の第2保留追加処理において第2始動入賞記憶表示エリア5HRに保留表示を追加する処理等）と、

変動表示の実行中に、共通演出（図40の共通態様部分）を実行し、当該共通演出を実行した後に前記保留表示の表示態様を変化させる変化演出（保留表示の色を変化させる演出等）及び前記保留表示の表示態様を変化させない示唆演出（特定示唆演出等）のいずれか一方を実行可能な演出実行手段（演出制御用CPU120等）とを備え、

前記演出実行手段は、前記共通演出として所定の効果音を出力するとともに（図40に示すように、変化演出および特定示唆演出では、共通態様部分においてスピーカ8から効果音が出力される等）、前記特定表示の表示態様を変化させるときと前記特定表示の表示態様を変化させないときとで少なくとも一部が同一または類似の態様の特定画像を表示し（図40に示すように、変化演出および付加演出では、演出開始から煙画像（スモーク画像）で表示される特定画像が表示される等）、

変動表示の実行中における複数タイミングのうち、いずれのタイミングで前記共通演出を実行するかに応じて、前記変化演出を実行する割合が異なる（実行タイミングにより成

功期待度が異なる等)。